

平成 29 年度アジア安全衛生 SAKURA プロジェクト実施報告

「アジア安全衛生 SAKURA プロジェクト」(補助事業)は、日本で日系企業の現地従業員に現地語で労働災害防止のためのノウハウや経験を伝える「国内における研修」と、日本から専門家を派遣して参加者の海外拠点で安全診断等を行う「海外における助言・指導」を組み合わせるものである。

本事業開始 2 年目となる本年度は、ベトナムの日系企業の安全衛生担当者を主な対象とし、現地語(ベトナム語)によりプロジェクトを実施した。昨年 10 月に日本国内における研修を 5 日間実施し、本年 2 月にベトナム(ホーチミン)において「海外における助言・指導」を実施したので以下のとおり報告する。



I 「国内における研修」の実施について

1. 実施日程：平成 29 年 10 月 16 日(月)～20 日(金)(5 日間)
2. 参加者・参加企業数：ベトナムにおける日系企業 8 社より合計 12 名
3. カリキュラム

	研修内容
第 1 日	開講挨拶、オリエンテーション
	【講義】日本の安全衛生活動の取組み(JISHA-ISO・MS 審査センター専門役)
	【演習】ゼロ災運動と KYT(教育推進部ゼロ災センター所長)
第 2 日	【演習】ゼロ災運動と KYT(教育推進部ゼロ災センター所長)
第 3 日	【演習】ゼロ災運動と KYT(教育推進部ゼロ災センター所長)
	現場視察
第 4 日	【講義】日本の OSHMS(技術支援部 MS 推進センター専門役)
	【演習】OSHMS の現状把握(技術支援部 MS 推進センター専門役)
第 5 日	【講義・演習】リスクアセスメント(技術支援部 MS 推進センター専門役)
	レポート発表、今後の取組みについて、閉講挨拶、修了証授与
第 6 日	都内下町ツアーの実施(希望者のみ)

II 「海外における助言・指導」の実施について

1. 実施日程

- ① 平成 30 年 2 月 6 日(火)～9 日(金)
- ② 平成 30 年 2 月 26 日(月)～3 月 1 日(木)

2. 担当管理士等

- ① 技術支援部マネジメントシステム推進センター専門役、国際センター課長
- ② 技術支援部マネジメントシステム推進センター専門役、国際センター専門役

(担当管理士等はいずれも中災防職員)

3. 実施概況

参加事業場 8 社を 2 チーム(各 2 名)で分担し、各事業場を 2 時間程度かけて「海外における助言・指導」を実施した。具体的には、本社担当者、安全衛生担当者、研修参加者らと現場を巡回し、危険箇所等があればその対策について助言・指導を行った。なお、詳細については、診断実施報告書にとりまとめて事業場に提出する。

III プロジェクトの総括

本プロジェクトへの事業場の参加動機は、安全衛生活動のさらなる充実や安全担当者のレベルアップなどが様々であるが、参加事業場は概ね安全意識が高く、安全衛生活動にも積極的に取り組んでいることを実感した。管理体制については日系本社の支援をもとに取組活動の徹底を行っているところもあれば、現地の安全担当者が中心となり活動を実施しているなど様々である。

参加事業場からの感想としては、プロジェクトを通じて多くを学ぶことが出来た、研修が現地語で実施されたため理解が進んだ、日本で勉強できたことが参加者の大きな自信につながったなどの声があった。

参加事業場の中には、危険予知活動を海外事業場で展開するために継続して中災防に支援をお願いしたいなどの要望もあり、海外事業場の中災防への期待の大きさも実感した。今後は海外事業場のニーズにも応えられるよう中災防事業の PR 方法や体制づくり等を検討していきたい。

平成 30 年度はタイをプロジェクト対象国として実施予定である。